しばたの次代デザイン会議　意見交換概要（第6B区）

日　時　：令和8年10月31日(土)　10:00～11:37

会　場　：第6B区集会所

参加者数　：12人

町出席者　：町長、副町長、教育長、総務課長、まちづくり政策課長、財政課長、都市建設課長、健康推進課長





No.	意見等	回答
1	地域には地盤沈下が見られ、10年前と比べて約20センチ沈下している箇所がある。県道114号でも上下水道管が入っている部分とそれ以外の部分に段差が見られるため、現地を確認し、災害対策を進めてほしい。	令和元年東日本台風後、町内の下水道管を調査し、ゆがみやずれがある箇所は国の補助金を活用して補修しました。この地区では下水道管の流れが悪いとの情報はあまりなく、管の勾配は一定程度確保されていると考えています。一方、道路の不陸や沈下により勾配が確保できていない箇所があることは認識しており、財政状況と町全体の優先順位を踏まえて検討します。
2	集会所周辺には側溝が逆勾配となっている箇所や、内部が詰まっている箇所があり、水がたまる場所も決まっている。県道を含めて水勾配と水の流れを調査し、不要な側溝があれば撤去も検討してほしい。	集会所周辺は県道側の側溝へ水が流れる地形ですが、県道の側溝より低い場所では排水ますとポンプによる強制排水を行っています。今年、強い雨による道路冠水に対応するためポンプを3インチに大型化し、地盤沈下によって集水ますへ流れ込んでいた水を県道側へ流す改善も行いました。今後も水の流れを確認しながら、少しずつ改善します。県道の修繕については、町から土木事務所へ伝えます。

No.	意見等	回答
3	6B区集会所は床、壁、天井材などが傷み、隙間風も入るため、現在のままでは災害時の避難場所として十分ではない。令和元年東日本台風では指定避難所への経路が冠水して移動できなかったため、身近な避難場所として活用できるよう、早期に耐震改修してほしい。	6B区集会所は昭和51年建築で、町内30数か所の集会所のうち、耐震改修が未実施の古い集会所3か所ほどに含まれます。耐震改修を行う方向で計画していますが、財源確保と町全体の優先順位の関係から予算化できていません。直ちに実施することは約束できませんが、なるべく早く予算化できるよう取り組みます。
4	新栄通り線の延伸は以前から話題となっているが、既存住宅の移転も想定される。単に構想を示すだけでなく、実現の見通しと町の考えを示してほしい。	県道から高架橋の約550メートルについて、現時点で整備した場合の事業費、農業用水路、地下埋設物、法規制などを調査しています。町単独での実施は困難で、数億円規模の事業費が想定されるため、国の補助金を獲得するための計画づくりも必要です。道路だけでなく周辺の面的整備も含め、今後も検討を進めます。
5	船岡や船迫と比べ、槻木地区は目に見える施設整備が少なく、取り残されているように感じる。町は槻木地区のまちづくりをどのように考えているか。	槻木地区にも一定の予算を配分していますが、目に見える建物が少ないことや、槻木事務所がなくなったことが、取り残されているという感覚につながっていると考えています。一方、四日市場周辺では新築住宅が増え、保育園の進出や槻木保育所の民営化も予定されています。槻木駅の交通利便性も踏まえ、今後、地域の皆さんと話し合いながら発展を考えます。
6	災害や地震が発生しても、この地域では町の防災無線がほとんど聞こえない。防災無線の設置状況と、聞こえない地域への対応を伺いたい。	防災無線は町内19か所に設置しており、主な設置場所は船迫中学校、農村環境改善センター、消防コミュニティセンターなどです。反響や住宅の遮音性により内容を聞き取りにくい場所があるため、一人暮らしの高齢者などには防災ラジオを貸与し、町公式LINEやメールでも情報を補完しています。大規模な災害時に放送できるよう、常に準備しています。

No.	意見等	回答
7	地震などの際、携帯電話には近隣自治体からの情報が届くことがあるが、柴田町から届いた記憶が少ない。確実に防災情報を受け取れる方法を知りたい。	携帯電話への緊急速報は、エリアや携帯電話会社などによって、同じ場所でも届く場合と届かない場合があり、町だけで調整することは困難です。町公式LINEやメールを登録してください。一人暮らしの方で防災ラジオを持っていない場合は、役場で対応します。
8	県道には歩道が途切れている区間があり、車の通行量も多いため、登校する子どもが危険である。歩道や横断歩道を整備し、学校でも通学路を確認してほしい。	通学路は各学校で定め、危険箇所を毎年点検しています。今回の場所について、歩道がない箇所と子どもの通行状況を確認します。県道の歩道整備は町から県へ要望します。横断歩道は宮城県警察の公安委員会が設置し、交通量や歩行者数などの基準があるため、まず現状と通学路を確認します。
9	周辺の公園にはトイレがなく、小さな子どもが遊ぶ際に不便である。全ての公園でなくてもよいので、トイレを設置してほしい。	6号公園の整備時に地域でワークショップを行い、トイレの管理を地元の愛護会が継続して担うことが難しいため、設置しないことになった経緯があります。町内のトイレがある公園では、行政区が清掃やトイレットペーパーの補充を行っています。新たな設置には、地域の合意と継続的な地域管理が必要です。
10	6B区内の公園では樹木が剪定されないまま伸び、枯れた木や弱った新芽も見られる。地域でも草刈り時に剪定しているが、町でも年1回程度の剪定や樹木管理を行ってほしい。	並松公園の桜は老木化しており、町内の桜全体でも同様の課題があります。数年前から樹木医に選定した木を見てもらっているため、専門的な見地から並松公園の木も調査したいと考えています。地域で可能な範囲の剪定を行うことは可能で、剪定した枝は町へ連絡があれば回収します。
11	並松公園の樹木や遊具の維持管理を進めてほしい。	並松公園は国有地を町が無償で借りているため、樹木の伐採や遊具の新設・撤去には国への届出などが必要です。剪定などの維持管理には問題がないため、今後も町と地域が連携して管理します。

No.	意見等	回答
12	県道沿いのごみ集積所で、鍵を開けず外側へごみを置く不法投棄が発生している。7月に防犯カメラの設置を依頼したが、10月31日現在も設置されていないため、進捗を確認してほしい。	防犯カメラについては、貸出用カメラがあると認識していましたが、Wi-Fi環境の問題など、事情が異なるようです。町で進捗を確認します。
13	新図書館だけで人を集めることは難しいため、周辺に魅力的な機能を整備してほしい。また、近隣自治体と役割分担し、広域的に集客する取組が必要ではないか。	新図書館の周辺では、現在の暫定図書館を屋内の子どもの遊び場として整備するほか、茶室の修繕、スロープカー、「みんなの広場」、駐車場の整備を進めます。広場でのバザーやマルシェ、「さくらの里」の直売機能などの提案も取り入れ、町民が集まる仕組みをつくりたいと考えています。広域連携では、柴田町の桜、蔵王の雪の壁、蔵王温泉や秋保温泉などを結ぶ周遊型観光を、近隣自治体と連携して具体的に進める必要があると考えています。